

長寿を祝う会は 3年連続の中止

10月16日に開催を予定していた長寿を祝う会（敬老会）は、コロナ禍の中、高齢者の皆さんが長時間、屋内で密集することになるため、中止することにしました。

開催を楽しみにされていた皆さまには申し訳ありませんが、安全を考慮し今回の判断となりました。3年連続の中止となり、主催者としても大変残念に思っています。

なお、75歳以上の出席対象者の皆さんには、地区社協名で長寿をお祝いするメッセージと記念品を、自治会長さんを通じてお届けしたいと考えています。

長久地区社会福祉協議会
会長 石田 國雄

2年ぶりに長久探検ウォーク 10/30(日) 山陰道工事現場を見学

来年度完成予定の山陰道「大田・静間道路」を見学します。申し込みなど詳しくは、今月の全戸配布チラシをご覧ください。



11月6日に長久町文化祭を開催

イベント縮小し感染リスクを回避

長久町文化祭を11月6日(日)、長久小体育館で開催します。

今回は密を避けるため、ステージイベントや飲食スペースは設けません。これにより来場者の滞留時間が短くなり、また、会場の換気やマスクの着用、検温、消毒などを徹底することで、コロナの感染リスクは大幅に軽減できると判断し、開催の運びとなりました。

なお、文化祭の詳細については、

▲自治会の文化委員さんら関係者約20人が参加し、9月9日に実行委員会を開催。リスク回避策について話し合いました

10月の自治会配布物に併せ、チラシにてお知らせします。

3年ぶりの開催です。皆さんの出展をお待ちしています。

長久町文化祭実行委員会

実行委員長 和田 秀夫

町民運動会中止の代替行事

9/25 長久町民 DE ラジオ体操

長久町体育協会では、9月25日に計画していた町民運動会を中止し、

この代替行事として「長久町民DEラジオ体操」を実施します。

会場は長久小学校校庭。ラジオ体操のほか、ちびっ子旗とり、お楽しみ抽選会もあります。

- 9月25日(日) 6:20~7:00
(雨天中止)

ぜひ、このイベントに参加して運動を習慣づけてください。詳しくは今月の回覧文書をご覧ください。

長久まちづくりクラブ

SNSで情報発信中

フォローをお願いします

長久まちづくりクラブでは、長久町を元気にするため、そして一人でも多く長久町のことを知ってもらうため、SNSで情報を発信しています。

どしどしフォローをお願いします。

長久まちづくりクラブのSNSは、町内に住む若者たちの協力のもと、写真や動画を中心に情報発信しています。

(右上写真：長久さくらフォトコンテスト大賞作品)



Instagram



Facebook



Twitter



NO. 87号 (2022年9月)

長久倶楽部

発行責任者 : 長久まちづくりセンター長 楢 義行

長久町の
人口・世帯数

男	:	1,468
女	:	1,598
合計	:	3,066
世帯数	:	1,433
(9月1日現在)		

3年ぶりのお盆イベント

盆くどきと“市販”花火の宵

長久まちづくりクラブ（盆踊り実行委員会）では、3年ぶりのお盆イベント「盆くどきと“市販”花火の宵」を8月13日、長久小学校校庭で開催しました。

このイベントはコロナ禍の中、少しでもお盆らしさを楽しんでもらおうと、長久のせいねん団のメンバーが中心となり実施しました。

当日はコロナ感染に配慮し、恒例の盆踊りや露店、抽選会は行わず盆くどきのみで開催しました。

なお、今回は新たな企画「市販」



花火大会が加わり、イベントに花を添えました。

花火大会は配置や着火のタイミングなど、せいねん団メンバーの工夫が功を奏し、市販とは思えないダイナミックなものとなり、約200人の

観客を魅了しました。

なお、イベント終了後は、来場したちびっ子たちに花火と竹トンボをプレゼント——うれしそうな笑顔が実行委員の労をねぎらった夏の夜となりました。

短信

通学路の危険箇所

夏休み中に関係者が現地調査



大田警察署や県、市、学校関係者が8月24日、市内の通学路の危険箇所を調査しました。

長久町は市道稲用線を調査、長久みまもり隊員も立ち会い、スピード超過運転への対策や、落石など危険箇所の解消などを要望しました。



ボランティア30人 小学校周りの伐採作業

6月25日、一般住民や小学校PTA役員、小学校職員など約30人で小学校プール周りの植栽の剪定、進入道路や学校周辺の雑草の刈り取り作業を行いました。

伐採から運搬廃棄まで、1時間半の分担作業で学校周りはすっきりきれいになりました。

庁舎整備について 市長と意見交換



市役所庁舎の整備について市民の意見を聞く「市長と語る会」が6月3日、長久まちセンで開かれました。

約30人の参加者からは「新しい庁舎を建てる必要があるのか」「候補地は大田市駅東側で決定か」「建てるのであれば、まちの活性化につながるような施設にしてほしい」など、多くの発言がありました。

これら様々な意見や質問に対し市長は、本庁舎の現状や費用対効果について資料をもとに説明。庁舎整備の方向性について理解を求めました。